



# VI 現代的課題対応学習事業 の概要

## VI 現代的課題対応学習事業の概要

地域が抱える緊急の課題に的確に応えることを目指し、市民館等が社会や地域のニーズを適切に調査・研究し、先導的・主導的に実施していく事業として 2008（平成 20）年度から新たに開設した。

### 1 シニアの社会参加支援事業

いわゆる団塊の世代の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援することを目的に開設した。2011（平成 23）年度に「入門コース」に加えて「活動コース」を新設した。

#### （1）入門コース

シニア世代等の地域参加に向けた入門的な啓発事業として実施した。「地域活動への参加」や「地域との係わり方」等に関する学習機会を提供し、地域参加の「はじめの一步」となるように基本的知識や技術を高めながら仲間づくりを図ると共に、多様な学習形態により多くの市民が参加できるように工夫した。

#### （2）活動コース

シニア世代等が自らの経験・知識・能力を活かして地域社会で活躍できるよう支援することを目的とし、2011（平成 23）年度に開設した。「入門コース」の学習内容からの発展をより意識し、修了後の自主的な活動に向けた仲間づくり、具体的な地域活動の実践への支援を行った。



## VI 1 (1) シニアの社会参加支援事業 入門コース

### 教文 シニアの仲間づくり

主 題：シニア世代の仲間作り、地域活動への参加を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・15	土	シニアが地域参加の入口となる体験学習からチャレンジのきっかけを見つけ出し、セカンドライフを考える。また、地域活動の先達を講師に招き、意義や活動の話や活動の話を聞くことで自分のこれからの地域活動のプランを考えていく	シニア世代が地域でどのように過ごしていくべきか、地域で活動しているグループから学ぶ	武蔵野手打ちうどん保存会川崎 会長 北条 秀衛 東京農業大学 名誉教授 中島 常雄
2	19	水		ワークショップの手法から、仲間づくりやコミュニケーションの技術を学ぶ	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
3	29	土		地域グループの活動を実際に体験する①（うどん打ちと試食）	武蔵野手打ちうどん保存会川崎
4	11・2	水		地域で元気に活動するために、体力維持のための食事や運動方法を学ぶ	栄養士 米井 智子
5	12	土		地域グループの活動を実際に体験する②（うどん打ちと持ち帰って家族と試食）	武蔵野手打ちうどん保存会川崎
6	16	水		地域活動の事例を聞く 自身の活動プランを考える①	企画委員 職員
7	30	水		短歌や書の活動者の体験から学ぶ 自身の活動プランを考える②	短歌・書研究家 古郡 博
8	12・7	水		学習のまとめ、振り返り 活動プランの発表	竹迫 和代

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 主に10:00～12:00

●対象 主に50歳以上の方

●参加者数 13人(男11人、女2人)

●延べ人数 89人

●企画委員会 3回

●企画委員 4人

### 大師 「孫育てから、た育てへ」

主 題：最近の子育てから地域の子育てを見守る「た（他）育て」を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・29	火	オリエンテーション 自己紹介	ただの孫育てで終わらせない「た育て」のための学習のねらいの確認	職員
2	12・6	火	孫育てから考えよう	子育ての主役は親であり、まわりにできることを考える 孫育てが必要な現状と社会的背景を学ぶ	孫育て上手 編集長 NPO 法人孫育て・ニッポン 理事長 棒田 明子
3	20	火	育児今昔物語～世代の違い・私たちにできること～	時代の変化や医学の進歩によって変わった子育ての常識を学び、違いを理解し、相手を尊重するヒントにする	(社)日本助産師会 会長 岡本 喜代子
4	1・17	火	孫育てから出発したイクジイたち	最近のイクメン・イクジイ事情、そこから一歩踏み出したパパ・イクジイたちの事例を聞く	NPO 法人ファザーリングジャパン 代表理事 安藤 哲也
5	24	火	地域のママたちは、どうしてる？	若い世代の転入者が増えている大師地区の現状とイマドキのママたちの傾向を聞き、祖父母世代にできることを考える	川崎区役所保健福祉センター 保健師 植木 美津枝 川崎区役所こども支援室 保健師 中原 真理子
6	31	火	孫育てから、た育てへ～よその子どもに語りかけられますか～	今こそ考えなければいけない地域のつながり、多世代の人が子どもたちに接することの大切さを学ぶ	棒田 明子

●開設場所 大師分館

●時間帯 13:30～15:30

●対象 区内在住在勤50歳以上の方

●参加者数 10人(男0人、女10人)

●延べ人数 44人

## 田島 江戸の知恵を暮らしに活かそう

主 題：地域で支えあうことの大切さを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 4	金	震災では地域の人たちが支えあって復興に取り組んでいる。共同で生きていくための知恵である「江戸しぐさ」を学び地域に活かす。	江戸しぐさとは	NPO 法人江戸しぐさ事務局 青木 まき子
2	11	金		町人文化と経済	
3	18	金		たじましぐさを作ろう	
4	25	金		施設見学	東京都臨海広域防災公園
5	12・ 2	金		長屋の暮らし	江戸研究者・作家 石山 秀和
6	10	土		落語	落語家 金原亭 馬治

●開設場所 田島分館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 50歳以上の方

●参加者数 17人

●延べ人数 52人

## 幸 楽しく学んで・作って友だちづくり!

主 題：地域に住むシニア世代の、郷土理解と仲間作りを目指す

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・ 24	土	共通の話題をみつけて、地域における仲間づくりを行う	幸区の歴史について学び、当時をジオラマで再現する	Nゲージモデラー 小熊 寛、板橋 康造 橋本 玲未、佐藤 雅彦

●開設場所 幸市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 40歳以上の関心のある方

●参加者数 6人(男6人、女0人)

●延べ人数 6人

## 幸 幸区版外国人向け「災害お役立ちマニュアル」を作ってみよう!

主 題：地域在住の外国人が災害時に役立つマニュアルのあり方を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・ 6	火	外国人にとって災害時に必要な情報はどうか、について考える	オリエンテーション 災害時における外国人の現状とその対応	東京国際大学 職員 リンドリ・マツ 国際交流協会 通訳ボランティア 手塚 正明
2	13	火		先進事例に学ぶ ～他自治体の取り組み	目黒区国際交流協会 職員 加納 美帆
3	20	火		情報を上手く活用するには ～ガイドとマップその長所・短所	株式会社日本セーフティ災害研究所 所長 伊永 勉
4	1・ 10	火		実際にマニュアルを作成してみよう1	株式会社日本セーフティ災害研究所 主任研究員 川下 明子
5	17	火		実際にマニュアルを作成してみよう2 まとめ	

●開設場所 幸市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 40歳以上の関心のある方

●参加者数 5人(男2人、女3人)

●延べ人数 15人

## 日吉 日吉の花咲かシニアさん入門編

主 題：ガーデニングの基礎と生ごみリサイクルの仕組みを学ぼう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・25	火	花の寄せ植えなどの実習を通じて環境緑化推進の意識を育む	地域の緑化活動の推進について	幸花クラブ代表 根本 健
2	11・1	火		植物の手入れの方法について	
3	8	火		花の寄せ植えについて	
4	16	水		生ごみのリサイクル「ダンボールコンポスト」とは	環境を考え行動する会 阿部 貴紅子、村山 美香子
5	12・10	土		堆肥を使った土づくり（幸市民館市民自主学級と合同）	川崎ガーディナー 三亀 イソ子

●開設場所 日吉分館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 おおむね 40 歳以上の関心のある方

●参加者数 20 人（男 6 人、女 14 人）

●延べ人数 60 人

## 中原 シニアアカデミー

主 題：学びを通じて、前に進む生き方を「生活の中の環境・健康」

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・22	土	シニア世代にとってこれまで関りの薄かった地域・生活課題に「環境・健康」をとりあげて地域課題としての認識を深め、課題解決を目指す	講座の趣旨説明 学級運営について 環境と健康『水』①「くらしと水」	職員 東京農工大学 名誉教授 小倉 紀雄
2	11・5	土		環境と健康『水』② かわさきの水 潮見台浄水場見学	上下水道局 水管理センター 職員
3	12	土		環境と健康『水』③「水と放射能」をテーマに リスクコミュニケーションを学ぶ	職員
4	12・4	日		中原区の震災時の情報を知る	総務局 危機管理室 職員
5	10	土		環境と健康『空気』① 大気と健康～大気汚染物質と健康リスク～	元産業医学総合研究所 部長 有藤 平八郎
6	1・14	土		環境と健康『空気』② 川崎市の大気環境 大気汚染、放射能汚染	環境局 環境技術情報センター 職員
7	21	土		環境と健康『空気』③ 川崎市（中原区）の大気環境 中原区一般環境大気測定局見学	
8	2・4	土		活動紹介と交流	とどろき水辺の楽校 代表 鈴木 真知子 中原区市民健康の森を育てる 会 副会長 塚原 幸博 NPO 法人アクト川崎 代表 竹井 齋

●開設場所 中原市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 区内在住・在勤の 55 歳以上の方

●参加者数 19 人（男 10 人、女 9 人）

●延べ人数 98 人

●企画委員会 3 回

●企画委員 3 人

## 高津 はじめてでも簡単！ホームページづくり

主 題：ホームページ作成講座

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・31	火	講座の趣旨を理解し、お互いを知り合う	オリエンテーション 自己紹介	(株)電創スタッフ 3 人 職員

2	2・7	火	ホームページの基礎から作成・更新の仕方までを学ぶ	ホームページ入門編 作成ソフトを使用し簡単なホームページの作成とリンクの貼り方を学ぶ	(株)電創スタッフ 板坂 玉樹
3	14	火			
4	21	火			
5	28	火		ホームページ発展編 アピールしやすいデザイン方法や、ソフトの機能を活用しオリジナル性あふれるロゴや写真の加工方法を学ぶ	
6	3・6	火		作成についての疑問点を解消する	
7	13	火	今後の活動について話し合う	今後の活動に向けての話し合い	(公財)かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子

●開設場所 産業振興会館 他 ●時間帯 主に13:30～16:30

●対象 パソコンで簡単な文章が作れる方

●参加者数 16人(男10人、女6人) ●延べ人数 94人

## 橘 この町の人になる

主 題：シニア男子のためのノンフィクション劇場

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・2	木	はじめましてこのメンバーで一緒に進めます	進め方についてのオリエンテーション マイエリア(自宅半径500メートル)調査	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
2	9	木	町内や、町を支えるために、いろいろな活動をしている人たちに会おう	地域で活動している人たちの、組織や活動内容を知るとともに、その人たちの地域に対する思いを聞く(町内会・自治会、市民活動団体・ボランティア団体など)	明津町内会 会長 下山 宏一 高津区市民健康の森を育てる会 山田 利雄 写本橋 代表 齊藤 克
3	16	木	マイエリア調査での発見をお互いに交換してみる	マイエリア調査を通して、自分の身近な地域で気づいたことを報告しあい、マップに落とす	竹迫 和代
4	23	木	街角のあの場所ですんなり人がどんな時間を過ごしているのか、実体験してみる(プチインターンシップ)	地域の中の様々施設や活動を実際に体験するために、体験場所の振り分けや、準備をおこなう	職員
5	3・8	木		体験の報告と、そこから見えてきたことを意見交換し、共有する	
6	15	木	「この町のひとになる」のために、自分をプロデュースする	自分がこれから地域とどうかわっていきたいか、それを具体化するためのシナリオを考えてみる	竹迫 和代

●開設場所 橘分館 他 ●時間帯 13:30～15:30

●対象 概ね60歳以上の男性 ●参加者数 7人(男7人、女0人)

●延べ人数 35人

## 宮前 シニアライフを生き生きとパート4

主 題：シニアが地域で活躍するために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・14	金	シニア時代を生き生きと過ごすために(1)	自分にあった生き方って	日本フィランソロピー研究所 所長 渡邊 一雄
2	21	金	老後の暮らしを考える	自宅での老後の過ごし方。知っておきたい介護保険	地域包括センター 職員 内山 信隆
3	28	金		老人ホームまで暮らしの実態と準備しておきたいこと	

4	11・4	金	生産的加齢のすすめ	主体的に成長する高齢者になるために	聖徳大学 准教授 齊藤 ゆか
5	11	金	区内高齢者関連施設を知る	特別養護老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム見学	職員
6	18	金	老後の暮らしを考える	認知症って	聖マリアンナ医科大学 医師 石川 哲也
7	25	金	地域医療とホームドクター	地域医療の理解とホームドクターの見つけ方	小野田医院 院長 小野田 昌一
8	12・2	金	地域デビューの進め	区内の地域活動	前菅生台自治会 会長 丸山 幸一 宮前区社会福祉協議会 職員 反町 裕
9	16	金	シニア時代を生き生きとすごすために	まずははじめの一歩のすすめ	渡邊 一雄
10	1・6	金	地域デビューのすすめ	野川地区の活動にみる高齢者の支えあいに学ぶ	すずの会 会長 鈴木 恵子

- 開設場所 宮前市民館 ●時間帯 13:30～15:30
- 対象 50歳以上の方30名 ●参加者数 30人(男12人、女18人)
- 延べ人数 216人

## 菅生 シニアの今を心も身体も健康に過ごそう

主 題：老化に伴う疾病や予防について学び自分らしい生き方を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・30	水	張りのある老後を過ごすために	自分の得意なこと、これからやってみたいことを話す	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
2	12・7	水	心の若さを保つために	気持ちの持ちようでもっと心から人生を前向きに考える	CHR 研究所 所長 小山田 治子
3	14	水	健康に暮らしていくために	健やかな老後に向けて、介護の現状と体力年齢を知り介護予防について考える	介護福祉士 定方 淑江
4	21	水		介護予防検診と体力測定をし、自宅で自分にあった軽い体操を取り入れてみる	
5	1・11	水	健康でいられるための予防医学	生活習慣病や老化に伴う様々な疾病について学び、それらの予防について学ぶ	医学博士・桜美林大学 教授 長田 久雄
6	18	水	これからの暮らしを考える	学習を振り返り自分なりの人生設計を考える	竹迫 和代

- 開設場所 菅生分館 ●時間帯 10:00～12:00
- 対象 関心のある方 ●参加者数 16人(男3人、女13人)
- 延べ人数 77人

## 多摩 誰にでもできる地域への貢献

主 題：身近なところで簡単にできる地域の活動をめざして

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・4	金	ボランティアの観点から自分の力の可能性を知り、どのような地域貢献ができるかを考え、日頃から考えている気持ちを行動に表し、地域社会の向上をめざした活動について学ぶ	ボランティア活動入門 ～地域に貢献できる自分の力を見直す～	(公財)かわさき市民活動センター 市民活動推進課 新垣 京子
2	11	金		地域環境への貢献 ～地域のクリーンアップも立派なボランティア～	職員
3	18	金		地域の子どもへの貢献 ～竹細工のおもちゃづくり体験～	おやじの会「いたか」 中島 豊、藤村 知也

4	25	金		地域福祉への貢献 ～手話から相手の想いを知る～	手話サークルやまびこ 出浦 洋子、中田 香織
5	12・2	金		市民館で地域への貢献 ～デジタルカメラの撮影技術を学び、市民館の 事業風景を撮影する写真撮影ボランティアに 参加する～	日本写真家連盟理事 櫻木 進
6	9	金	講座の振り返りと 今後の活動を考える	まとめ ～地域での心あたたまるボランティア活動を めざして～	職員

- 開設場所 多摩市民館 他
- 時間帯 10:00 ～ 12:00
- 対象 原則 50 歳以上の関心のある方
- 参加者数 8 人(男 8 人、女 0 人)
- 延べ人数 26 人

## 多摩 シニア発信!地域の”わ”

主 題：シニア世代が現代の子育てについて理解を深め世代間の交流について考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・14	土		講座の主旨について理解してもらい、受講者同士のコミュニケーションを図る	NPO 法人シニアわーくす Ryoma21 理事長 松本 すみ子
2	20	金	現代の子育てについてシニア世代と子育て世代が交流するために必要なことについて学ぶ	現代の子育て事情について学び、現代の子育てにできることを考える	帝京大学 教授 杉本 真理子
3	27	金		子どもたちと関わるために① ～おやつ作りの時間～	川崎市食生活改善推進委員 小川 町子
				子どもたちと関わるために② ～子育て世代と話そう～	市民自主学級企画者 職員
4	2・3	金		子どもたちと関わるために③ ～絵本の時間～	りぷりんと よみきかせインス トラクター 熊谷 裕紀子
5	10	金	講座を振り返り今後の活動について考える	講座の振り返り	職員

- 開設場所 多摩市民館
- 時間帯 14:00 ～ 16:00
- 対象 概ね 50 歳以上の男女
- 参加者数 13 人(男 0 人、女 13 人)
- 延べ人数 35 人

## 麻生 次世代につなぐシニアのバトン

主 題：あなたが次世代に伝えたいものは何ですか

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・18	金	シニアが次世代に伝えるもの、伝えなければならないものを見極め、次世代につなぐをキーワードに市民活動に参加するための基本的知識を習得する	オリエンテーション ワークショップ	職員
2	25	金		仲間づくりのコミュニケーション術	アサーティブトレーナー 岡 智子
3	12・2	金		なぜか人に誤解される～人に伝わる話し方	話力総合研究所 所員講師 宮地 一女
4	9	金		高齢者をとりまく現状	ケアマネージャー 吉田 和子
5	16	金		<こんな活動、ご存知? I> 虹ヶ丘コミュニティルーム見学と講義	虹ヶ丘コミュニティ 事務局員 稲葉 辰子
6	1・13	金		<こんな活動、ご存知? II> エコクッキングからわかるエコライフ	食の安全を考える会 野本 健司
7	20	金		<公開講座> ドキュメンタリー映画「わたしの葬送日記」上映とトーク	ノンフィクション作家 松原 惇子



8	27	金		<こんな活動、ご存知？Ⅲ> お年寄りの話を未来に残そう	NPO 法人日本 MEMORO「記憶の銀行」代表 富田 直子
9	2・3	金		ボランティア活動のルールを知っておこう	臨床心理士 石井 栄子
10	10	金		体験ワークショップ 「わたしたちの住む場所」	NPO 法人国際理解教育センター 角田 尚子

●開設場所 麻生市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 概ね 50 歳以上

●参加者数 25 人(男 10 人、女 15 人)

●延べ人数 283 人

※公開講座は 148 人

## 岡上 地域で活かそう シニアの力!

主 題：関わりの少なかった地域社会での活動に参加できるよう支援する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・24	金	シニア時代の生き方、ボランティアとは何かを実際に地域活動している先輩方から学ぶ また、今後の活動をより円滑に進められるようパソコンの技術を学ぶ	講義 ボランティアとは何か?	NPO 法人かわさき創造プロジェクト 事務局長 森 正昭
2	3・2	金		パソコン実技 1	NPO 法人かわさき創造プロジェクト スタッフ
3	9	金		パソコン実技 2	
4	16	金		パソコン実技 3	
5	23	金		まとめと振り返り ～私たちに出来ることは?～	NPO 法人かわさき創造プロジェクト 代表理事 大下 勝巳

●開設場所 岡上分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 区内在住の概ね 50 歳以上の方

●参加者数 10 人(男 7 人、女 3 人)

●延べ人数 49 人

## VI 1 (2) シニアの社会参加支援事業 活動コース

### 教文 広報・ミニコミ入門

主 題：仲間作り、地域社会の活動をより広げることを支援する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・27	金	グループ活動のチラシやミニコミなど文章発信をしていくうえでの文章表現の基本や、編集及び紙面構成等の技術をグループワーク等を通して学び、それにより仲間づくりや地域に繋がる活動の促進をめざす	自己紹介 紙面作りの基礎からラフ作りを学ぶ	白やぎ工房 フリーライター 編集 佐々木 真理
2	2・3	金		記事を持ちより文章作りの心得から画像の選び方を学ぶ	
3	10	金		実際に記事を書いて紹介し合う	
4	17	金		デザインのコツから紙面完成に向け、今後の活動にむけて話し合う	デザイナー フォトグラファー 木村 朋弥、佐々木 真理

●開設場所 教育文化会館 ●時間帯 10:00～12:00

●対象 地域活動している関心のある方

●参加者数 18人(男13人、女5人) ●延べ人数 46人

### 日吉 日吉の花咲かシニアさん活動編

主 題：ガーデニングで地域へ羽ばたこう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・20	火	地域で緑化活動を体験し、かつ実践的な剪定のスキルアップを図ることで植樹管理を定期的に行うための主体的なグループ活動について考える	緑化活動の方法と支援について	川崎市公園緑地協会 野牛 雪子 夢見ヶ崎動物公園 園長 梶 一成
2	1・10	火		植物の剪定について学ぶ①	幸花クラブ代表 根本 健
3	2・14	火		植物の剪定について学ぶ②	
4	3・13	火		今後の緑化活動を考える	日本樹木医会神奈川支部 及川 清明

●開設場所 日吉分館 ●時間帯 10:00～12:00

●対象 概ね40歳以上の関心のある方

●参加者数 15人(男6人、女9人) ●延べ人数 37人

### 中原 生涯学習相談員養成セミナー

主 題：市民の生涯学習をあなたがサポート！

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	8・31	水		生涯学習の意義と学習相談の役割	八洲学園大学 教授 浅井 経子
2	9・7	水	学習情報提供・学習相談事業に従事する生涯学習相談員(学習相談ボランティア)の養成及びスキルアップを図り、中原区における生涯学習の活性化、地域の市民の生きがいづくりを促進する	学習相談の実際 ～生涯学習情報の収集から提供まで	神奈川県生涯学習センター 学習相談員 古谷 祥子
3	14	水		中原区の生涯学習① ～市民活動とサークル活動	なかはらっば祭 実行委員長 笹子 まさえ 中原市民館サークル連絡会 常任委員 小林 松子
4	28	水		中原区の生涯学習② ～川崎市生涯学習プラザ訪問	財川崎市生涯学習財団 事業推進部長 長田 俊一
5	10・5	水		面接相談のスキルアップ～「対話」と「共感」を生み出すコミュニケーション	デジタルストーリーテリング 研究所 代表 小澤 真人
6	26	水		麻生市民館・学習相談ボランティアとの交流会	職員

●開設場所 中原市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 26人(男11人、女15人)

●延べ人数 100人

## 高津 命を守る防災力

主 題：～中高年のための防災講座～

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・30	金	防災対策について学ぶ	日ごろの防災対策について ～あなたの知識は大丈夫～	(株)生活環境あくと 若林 直子
2	10・7	金	被災地について知る	被災地と福島第一原発での活動報告 ～派遣体験より～	高津消防署職員
3	14	金	ゲームを通して、 地域防災について 学ぶ	防災ワークショップ ゲームを通して防災対策を学ぶ	防災ネットワークプラン 井上 浩一
4	21	金			
5	28	金	応急処置を学ぶ	普通救命講習	高津消防署職員
6	11・4	金	地域でできる防災 対策について考える	地域でできる防災対策について ～自らができることについて考える～	井上 浩一

●開設場所 高津市民館

●時間帯 主に14:00～16:00

●対象 50歳以上の健康な方

●参加者数 14人(男5人、女9人)

●延べ人数 54人

## 宮前 農業応援ボランティア

主 題：農作業を通じ仲間・コミュニティーづくりをする

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・9	金	活動の基礎を学ぶ	・地域活動とは ・ボランティアとは	聖徳大学 准教授 齊藤 ゆか みやまへの農企画委員会 委員長 荒川 洋子
2	15	木	農作業を知る	・作業の安全 ・農作業について	小川農園 園主 小川 耕平
3	16	金			
4	22	木	まとめ	自分の活動・これからについて	齊藤 ゆか 荒川 洋子
5	29	金	交流会	・「うつしよの世の静寂に」上映と講話 ・シニアの社会参加支援事業(入門)受講者との交流・情報交換	ささらプロダクション 代表取締役 小倉 美恵子

●開設場所 宮前市民館 他

●時間帯 1、4回 10:00～12:00 2、3回 9:00～12:00

●対象 概ね50才以上で市内在住の方

●参加者数 13人(男10人、女3人) ●延べ人数 51人

## 多摩 “多摩の学び応援隊” 学習相談ボランティア研修

主 題：シニア世代の活力をいかすため、地域における生涯学習や学習相談のスキルなどを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 8	火	生涯学習支援、生涯学習情報の提供について現状を学び、学習相談に求められる基礎的なコーディネート能力やコミュニケーション能力を高め、市民館で情報収集、情報提供、学習相談のできるボランティアを養成する	地域における生涯学習支援とは	八洲学園大学 教授 浅井 経子
2	15	火		他の都市の事例を学ぶ① ～横浜市港北区の事例から	港北区役所地域振興課 社会教育主事 倉見 志津江
3	22	火		他の都市の事例を学ぶ② ～相模原市の事例から	相模原市総合学習センター 生涯学習推進員 藤野 英樹
4	29	火		カウンセリングの手法に学ぶ学習相談の実際	育英短期大学 教授 森川 澄男
5	12・ 6	火		学習相談ボランティアとしてできることについて考える	職員

●開設場所 多摩市民館 ●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 概ね 50 歳以上で関心のある方

●参加者数 13 人(男 5 人、女 8 人) ●延べ人数 39 人

## 麻生 市民館ナビゲーター養成講座 Part Ⅲ

主 題：あなたも地域の学習を支援する応援団で活動を！

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 2	水	生涯学習相談に求められる基礎的な資質やコーディネート能力、コミュニケーション能力を高め、情報収集・情報提供・相談ができる市民館ナビゲーターを(生涯学習ボランティア)を養成する	生涯学習とは何か、生涯学習と生涯教育について学ぶ	日本女子大学人間社会学部 教授 田中 雅文
2	9	水		学習相談に必要なコミュニケーション能力の基礎知識を学ぶ	日本女子大学人間社会学部 准教授 久東 光代
3	16	水		学習情報提供・相談について現場の状況を学習し、相談に関するスキルを学ぶ	金沢区民活動センター 元学習相談員 仲西 千春
4	30	水		これからの学習相談に求められるものは何か、学習相談のあり方について学ぶ	幸市民館長 中村 高明
5	12・ 7	水		中原市民館における、学習相談の実際を見学しながら、意見交換を行う	職員

●開設場所 麻生市民館 他 ●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 概ね 50 歳以上で関心のある方

●参加者数 23 人(男 12 人、女 11 人) ●延べ人数 79 人